

2016年8月29日  
野村ホールディングス株式会社

## 社会的責任投資の世界的株価指数「FTSE4Good」に 10年連続で採用されました

社会的責任投資(SRI)の世界的な株価指数である「FTSE4Good Index(フツィー・フォー・グッド・インデックス)」の定期見直しが行われ、野村ホールディングス株式会社(グループCEO:永井浩二、以下「当社」)は、同インデックスの構成銘柄として今回も採用されました。

ロンドン証券取引所グループのFTSE Russell(フツィー・ラッセル)が提供する「FTSE4Good Index」は、世界の2,000社以上を対象としてESG(Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンス)の評価基準を満たした企業が選定されるもので、企業の社会的責任に関心をもつ世界中の投資家にとって重要な投資判断基準のひとつになっています。今回の見直しでは、世界の823社、うち日本企業160社が選定されました。

今回、当社はESGに関する情報開示が認められ、「気候変動」、「労働基準」および「コーポレート・ガバナンス」の項目で最高点を獲得し、金融サービスセクターの上位2%にランクインしました。野村グループでは、ダイバーシティの推進をはじめESGに関する取り組みを積極的に行っています。

今後も野村グループは企業市民としての社会的責任を果たし、豊かな社会の実現と持続的な経済発展に貢献していきます。

### <ご参考>

野村グループのCSRに関する取り組みへの外部評価については、ホームページをご参照ください。

<http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/evaluations/>

以上